



**主 題**

- クラブ (主 題) “Pass it on to the next generation”  
 「次代に引き継ぐ」 生地 義治会長
- 国 際 (主 題) “Once More We Stand”  
 「心新たに立ち上がろう」 藤井 寛敏(東京江東クラブ)
- ア ジ ア (主 題) “Once More We Stand”  
 「心新たに立ち上がろう」 高田 一彦(横浜クラブ)
- 西日本区 (主 題) “Forward with Y's men's spirit in our hearts”  
 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」 仁科 保雄(京都キャピタル)
- 中 西 部 (主 題) “Enrich your Y's life with a broader perspective!!”  
 「豊かに、そして拮がりのあるワイズライフを!!」 松浦孝次(大阪センテナル)

**聖 句**

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。 ローマの信徒への手紙 12 章 12 節

**ルーツ**

只野 準一

「ルーツ」という言葉が流行語のようになったのは 1977 年のことである。「クンタ・キンテ」という名前をおぼえておられるだろうか？彼を中心としたアメリカ南部の黒人差別をえがいたドラマのタイトルが「ルーツ」である。わたしの「ルーツ」はどうか？宮城県仙台市にある「米ヶ袋下町」というところらしい。祖父の出身地がそこだと聞かされているが、親戚があるわけでも、祖父の生家が残っているわけでもない。しかし、私はどうしてもその土地に立ってみたいくなり、仕事の都合をやりくりして 2 年前の夏、「米ヶ袋下町」を訪れた。そこは、仙台市の中心部と青葉城との間にとりのこされたような、なんのへんてつもない、静かな住宅地だった。うろろると 1 時間ちかくも歩き回ってそこを後にしたが、なにかしら満足感のようなものを抱いていた。翌日、仕事関係の展示会の会場で、多くの地元の方々とお話をする機会にめぐまれた。素朴でここにことやさしそうな方が多かった。「このあたりがルーツでよかったな」と思った。今、震災の映像や活字の報道のすきまから、あの時の空気が感じられる。たった一度きり訪れた街に、私は何ができるのだろうか。ゆっくり、急いで考えよう。人ごとではないのだから。

**5 月 例会プログラム**

**東日本大震災復興支援  
 トーク&ライブコンサート  
 ～いまできること～**

日時：2011年5月21日(土) 14:00～16:00

会場：大阪YMCA会館2階大ホール

会費：1,000円(全額支援金に充当)

司会：広沢 美花さん

1. オープニングコール 司 会 者
2. 主催者挨拶 生地義治会長
3. トークショー  
 語り手：久保田 五十一(ミズノテクニクス)  
 聞き手：岩田 晋
4. 支援金贈呈 生地義治会長  
 土佐堀クラブより土佐堀 YMCA 末岡総主事へ贈呈
5. 抽選会 司 会 者
6. コンサート  
 ピ ア ノ：佐野 多由子(さの たゆこ)  
 ヴァイオリン：長野 昭子(ながの あきこ)  
 尺八・篠笛：山口 整萌(やまぐち せいも)  
 踊 り：珠希 星佳(たまき せいいか)
7. お礼の言葉 工藤義正実行委員長

**5月の強調テーマ < LT/Leader Training >**

実務に主体性をおき、10年度の全事業に徹底する。できる限り事業に反映させ、西日本区全体の発展に繋げる。

仁科 保雄理事(京都キャピタルクラブ)

## 例会報告

小路 清一

東日本大震災後早 40 日となる中で迎えた 4 月例会は、「トーク&ライブコンサート、チケットの売り上げを全額支援金に！」と生地会長の決意に満ちた言葉とともに開会しました。水口メンの犠牲者への哀悼と被災者を励ます想いがこもった聖句朗読と食膳感謝の後、神田館長が「大阪 YMCA の公益法人化と今後の方向性」をテーマにスピーチされました。

大阪 YMCA が日本の YMCA の中で一番に公益認可を取る事ができたこと。「常議委員会」がなくなり 4 法人の理事長からなる「理事長協議会」となること。執行機関としての各「理事会」を補佐監督する目的で「評議委員会」が持たれること。「運営委員会」から「ボランティアメンバー地域協議会」と変更され、ボランティアメンバーは各事業内により密接して活動することになり、「連絡調整全体会議」で調整されることをお話しされました。また、世界の YMCA の中で、アジア各国 Y の活動は停滞気味だとされているが、大阪 YMCA は公益化を一つの契機として何とか全体一新をはかり、互いに連携しながら目まぐるしく変動する世界の動きに素早く対応したプログラム展開を図る必要があること。そのためには、社会問題の解決とビジネスを同時に成立させる Social Business 手法の新プログラムを開発しながら、組織力・人材の養成とブランド力を高め、社会的存在意義の明確化を図ることが必須であることを話されました。具体的には、高齢者対応や青年キャリア開発など既存の知見を広域に展開する「東アジアアーバン YMCA ネットワーク構想」や「ニューカマーのためのプロジェクト」などが今後の可能性を切り開いていくことが期待されているとのことです。

岡野メンによるファンドオークションの後、岩田メンと工藤メンからトーク&ライブコンサートの取り組み状況の説明と、メンバー各自がチケットを販売し、特別な意味のある次月例会を成功させることが確認され、4 月例会を終えました。



公益財団法人についてご説明いただいた神田館長

4月

## 役員会報告

水口 美里

日 時：2011 年 4 月 26 日（火）18:30~19:30

場 所：奥田事務所

出席者：生地会長、岩田、岡野、奥田、工藤、小森、永井、灰谷、福永、牧口、水口

## 報告事項

- 4 月例会 [4 月 19 日（火）大阪 YMCA102・103 号室  
出席者：メンバー16名、メネット3名、ビジターなし  
ゲスト1名、合計20名、メーキャップ1名 出席率：  
17/20=85.0% 60周年記念ファンド：5,100円  
ニコニコ：9,000円  
担 当：Yサ事業委員会（只野、小路、小坂井、道関）  
内 容：①スピーチ：土佐堀 YMCA 館長 神田尚人さん  
「大阪 YMCA の公益法人化について」
- チャリティコンサート実行委員会（4月12日18:30~  
20:30、奥田事務所）出席者：生地、工藤、水口、奥田、  
小路、只野、永井、牧口  
内容：①ミズノ訪問(4/6)の報告  
②当日のタイムテーブル案  
③他クラブ訪問の経過報告および今後の進め方  
④5月10日(火)、17日(火)両日は実行委員会を開催する。  
⑤パンフレット・チケットを各メンに配布（20枚/人）
- 5月クラブ例会について  
チャリティコンサート開催を5月例会とする。

## 協議事項

- 西日本区大会 [6月11日~12日]の出席者再確認  
申込締切り：4月20日  
出席予定者：生地、工藤、奥田、小森、灰谷、北村、  
北村メ、岡野、永井、只野、岩田
- 西日本区大会「メモリアルアワー」、追悼原稿提出の件
- 6月例会について  
担当：交流事業委員会（小森委員長、今村、岩田、岡野  
奥田、水口）司会：岩田メン  
ゲスト：丸谷一耕氏（木野環境）  
内容：環境問題について
- 60周年事業の取り扱いについて  
クリスマスツリー寄付の YMCA 目録提出日時・場所および方法
- チャリティコンサートについて  
①他クラブ訪問の経過報告及び今後の訪問予定クラブ  
②イベント準備進捗状況  
③当日タイムテーブル確認およびメンバーの担当役割  
④コンサート終了後のゲストとの懇親会について  
灰谷メン、福永メンが担当し会場を手配する。
- 今後の予定  
5月度第2例会役員会・6月号ブリテン委員会  
5月24日（火）18:30~ 奥田事務所

# IBC & International

<アンニョン KOREA>

岩田 晋

## 韓国人共同墓地に眠る日本人

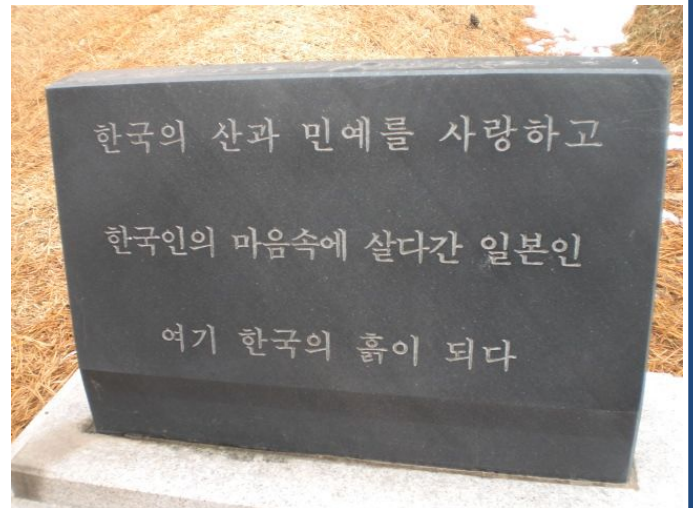
—朝鮮を愛した浅川巧(その1)—

私が4年間暮らしたソウルの下宿に静岡県出身のKさんが昨年の夏から語学留学で下宿中という話は下宿のご主人から聞いていましたが、実際にKさんに会ったのは、今年の1月でした。Kさんは静岡県のワイズメンから韓国語を学んだと聞き、こういった出会いもあるのだと驚いたものです。そして、2月の休日に、Kさんと語学学校のお友達のSさん、そして私の3人でソウル郊外にある共同墓地のマンウリ(忘憂里)公園を訪れることになりました。

2月初旬のマンウリ山は、数日前に降った雪がまだところどころに残っています。ソウル市が九里市と接する中浪区マンウリ山一帯に広がる共同墓地には、韓国独特の盛り土の墓が連なり、日本の公園墓地とは異なる光景です。頂上近く、漢江の流れを遥かに見下ろす高台に壺の形をした墓標が人目を惹きます。ここにただ一人の日本人、浅川巧が眠っているのです。珍しい形の墓標は、巧の兄、伯教(のりたか)が自ら作り、弟の一周忌に建てたものです。(7)



マンウリの共同墓地に眠る、唯一の日本人



韓国林業試験場職員の皆さんが建てた追慕碑  
「韓国の山と民芸を愛し・・・」とあります。

巧の墓の前には巧没後55年の1986年に韓国林業試験場職員の皆さんが建てた追慕碑にハングルで次のように書かれています。「韓国の山と民芸を愛し、韓国人の心の中に生きた日本人、韓国の土になる」。

1906年、山梨県の農林学校に入学した浅川巧は、卒業後、秋田県大館の営林署で働くようになりますが、1914年、職を辞して朝鮮に渡ります。彼の兄・伯教は朝鮮の美術品を研究するため、巧よりひと足早く、朝鮮に渡っていましたが、巧は兄・伯教の影響を強く受けていました。巧は朝鮮に渡ると、二ヵ月後には朝鮮総督府農商工部山林課に就職し、朝鮮国内の植林事業に従事するようになります。

彼は、朝鮮で暮らすためには何よりも言葉を習得しなければならないと考え、職場の朝鮮人職員から言葉を学びますが、数ヶ月でマスターしたと言います。家にいる時は常に朝鮮の服を身につけ、市井の朝鮮人と親しく付き合い合いました。朝鮮語は極めて流暢で、「あの朝鮮人は日本語がうまいね」と言われるほどであったという逸話が残っています。巧は朝鮮の民衆が日常使う木工品や陶磁器などのすぐれた美しさに魅せられ、仕事の傍ら「朝鮮の膳」を著し、次いで「朝鮮陶磁器名考」を著わしますが、これが遺稿になりました。

バジ・チョゴリの朝鮮服を着て、朝鮮の言葉を話し、朝鮮の人とまじわり、朝鮮の道具を使って暮らした浅川巧が、どれだけ朝鮮の人から愛されたかを物語るエピソードが残っています。それについては次月号でお話しします。

(注) 韓国は当時、日本の統治下にあり、《朝鮮》と呼ばれていたため、当稿ではその国号を使用しました。



東日本大震災  
東北地方太平洋沖地震  
募金活動ご協力をお願い

～未曾有の困難に、祈りをもって立ち向かう～

日本 YMCA 同盟 理事長 中川善博

東日本大震災・東北地方太平洋沖地震で被災されている多くの方々、特に家族を失い悲しみにあるの方々、消息が分からず不安な中にあるの方々の上に、神様の励ましと慰めがあることをYMCA 関係者一同、心よりお祈り申し上げます。

日本のYMCAでは被災された人々の救援・復興を目的に、災害支援本部を立ち上げ、緊急支援活動及び被災地のための募金活動を全国で展開します。また、YMCA は中長期にわたる支援も視野に入れ、特に災害の際に弱者となる子どもや高齢者、障がい者、在住外国人などの方々のためにできることに、全力を尽くしてまいります。

すでに世界125 の国と地域のYMCA のネットワークを通して、多くの支援の申し出、祈りと応援のメッセージが国内外より寄せられています。日本のYMCA は、ネットワークとノウハウを生かし、関東大震災、阪神淡路大地震、中越沖地震などこれまで発生した災害においても、イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づいたボランティア活動を展開してまいりました。

YMCAの連帯によってこの未曾有の困難に向かうことを誓い、一日も早い安全の確保と復旧のために、力を合わせてまいりたいと存じます。

皆様の尊いご支援とご協力をお願い申し上げます。

【募金振込み先】

■三菱東京UFJ銀行 四谷支店 普通 0951298

財団法人日本YMCA 同盟 国際協力募金口

■郵便振替口座 00190-6-464236

日本YMCA 同盟地域国際募金口

\*「東日本大震災支援」とお書き添えください。

領収書(受け取り)の発行は、特別なお申し出がある場合はいたしますが、そうでない場合は振込み控えをもって替えさせていただきます。

●募金期間 2011年3月14日(月)～4月30日(土)

日本YMCA 同盟 担当: 小野・真鍋 TEL03-5367-6645

FAX03-5367-6641 E-mail: info@ymcajapan.org

YMCA ニュース

■第217回大阪YMCA早天祈祷会

日時: 5月20日(金) 7:30～8:30

会場: 大阪YMCA会館10Fチャペル

証し: 北村知三さん(大阪ワイズメンズクラブ)

■「公益財団法人大阪YMCA」スタート

財団法人大阪キリスト教青年会(大阪YMCA)は、公益性を嚴重に要求する公益財団法人の認定等に関する法律に基づいて、内閣府の公益認定等委員会により公益財団法人として認定され、平成23年(2011年)4月1日付けで「公益財団法人大阪YMCA」として、新たなスタートを切りました。

※公益認定に伴い、特定公益増進法人に認められている、当該法人への寄附に係る税法上の優遇措置が、当法人への寄附についても適用されることとなります。

▽5月の予定

10日(火) 折りこみ実行委員会(18:30～)	奥田事務所
17日(火) 折りこみ実行委員会(18:30～)	奥田事務所
21日(土) クラブ例会・大震災復興折りこみ(14:00～)	土佐堀 YMCA2F 大ホール
24日(火) 第二例会・役員会(18:30～)	奥田事務所
24日(火) ブリテン委員会(19:30～)	奥田事務所

▽6月の予定

11日(土)～12日(日) 第14回西日本区大会	ウェスティン都ホテル京都
21日(火) クラブ例会(18:30～)	土佐堀 YMCA902 号室
28日(火) 第二例会・役員会(18:30～)	奥田事務所
28日(火) ブリテン委員会(19:30～)	奥田事務所

▽5月の誕生日おめでとう

26日 福永 稔子 29日 岩田 千代

▽5月の結婚記念日おめでとう

4日 小森 三省

<今月の題字写真> 鯉のぼり 初夏の爽やかな風のなか 鯉の親子が仲良く泳いで行く。多くの人の想いをどうか 天に届けてほしい。恋しいあの人のもとへ。(Y)

4月例会出席者数		4月例会出席率		B	F	ニコニコ		TOS ファンド	
メンバー	16名	会員例会出席者	16名	切手	0pt	4月分	9,000円	4月分	0円
メネット	3名	メーキャップ	1名	現金	0pt			今期累計	0円
コメット	0名	合計	17名					残高合計	1,311,060円
ビジター	0名	現会員数	21名					<b>60周年ファンド</b>	
ゲスト	1名	出席率対象数	20名					4月分	5,100円
出席者合計	20名	出席率	85.0%	今期累計	0pt	今期累計	72,977円	合計	225,554円